

## これからの部活動の在り方について

### 1 業務改善の視点から

令和元年度からの働き方改革関連法の施行に伴い、学校においても業務改善が義務付けられた。特に、部活動については、「ガイドライン」が設定され、遵守するよう指導がなされている。

- (1) 週2回の休養日（平日1回、土・日のいずれか）
- (2) 大会参加の上限10回 など

※ このような取組により、昨年度より部活動の指導時間が、かなり縮小され、顧問の負担は軽減されつつある。

今後もガイドラインに沿った部活動運営をしていくこととなる。

### 2 部活動運営の視点から（よりよい活動に向けて）

部活動顧問は、日々の業務（学級指導、教科指導等）+（プラスして）部活動指導業務を受け持つこととなる。

当然、部活動を受け持たない教師より、負担は大きいものである。しかしながら、受け持つことで、教師としての「やりがい」も得られるものである。だからこそ、顧問を引き受けている。

「やりがい」とは、部活動を通して、生徒や保護者との信頼関係を築くことができ、様々な面で生徒や保護者からバックアップをもらえること。（ギブ&テイク）ができていることである。

反面、ひとたび部活動内でトラブル（生徒間、生徒と顧問、顧問と保護者など）が起きると、信頼関係は崩れてしまい、部活動運営を続けることは困難となる。（学校の業務にも支障を来す。）

このような状況にならないためにも、部活動顧問が顧問を受け引き受ける前に、生徒及び保護者と「意思確認」及び「意志統一」

を図っておくことが重要である。(お互いに「こんなはずじゃなかった」と思わないために・・・)

<例えば>

- 部活動生徒は、顧問の指導方針にしっかり従う。
  - ※ 部活動規定及び各部活動のルールを守る。
  - ※ ルールを破ったら、必ず反省に向けての取組があることを理解した上、入部する。
- 保護者は、託した以上、顧問にすべてを任せる。
  - ※ 意見があるときは、育成会長を通して建設的に話合う。

・・・・・・・・・・・・・・・・などなど

令和元年度も、様々なトラブルで顧問が苦しんだ事例がいくつかありました。そのような状況を踏まえ、本校の顧問にアンケートを実施した結果が別紙のとおりです。(R1. 11月末実施)

特に心配なことは、次年度顧問を受け持ちたいと考えている顧問が39%で、検討中が15%、「しないが15%」「変わりたいが8%」であるということです。

顧問の選択は、自由です。「持ちたい」と思ってもらえることが一番です。今後、どのような取組をしていけばよいのか、子供たちのためにも、「顧問、生徒、育成会」で十分話し合いをもっていく必要があります。

「働き方改革」がスタートした中で、これまで通りの部活動運営を変えていく必要が出てきました。

#### ◆ 次年度の部活動スローガン ◆

- ギブ&テイク(顧問と生徒、保護者との関係)
- 「してみせて、言うて聴かせて、させてみる、  
そうてなければ、人は動かじ」(先輩と後輩の関係)

令和元年12月9日

## 令和2年度における部活動顧問の配置について

- 1 これまでどおり、平日1日、土・日いずれかを休む中で、顧問の方針（計画）に基づき、土・日も含め各種大会に出場する。
- 2 基本的に平日のみの活動を行い、中体連の大会を中心に試合等に参加する。（土日の練習や各種大会は顧問の判断に委ねる。）
- 3 活動は平日のみで、試合は中体連主催のみ参加する。

### 4 休止（顧問が決まらない場合）

※ 上記4の場合は、該当部活動の保護者会長と相談し、今後の部活動の在り方について検討する。

### ○ 部活動停止及び休止について

ア 部活動生徒に問題行動等があった場合は、部活動顧問会での話し合いを受け、基本的にその該当する生徒のみの活動停止とする。（部活には参加させるが、別メニューとする。内省を深める支援的な停止とする。）

イ 部活動内でトラブル（生徒間、顧問と生徒、顧問と保護者など）部活動運営に支障を来す状況になった場合は、学校長が判断し、活動を一時休止する。その後、今後の活動の在り方について関係者を交えながら話し合いをもち、よりよい改善につなげていく。（改善が見込まれる状況になったら再開とする。）

# 部活動の休部・廃部に関する規定

日置市立伊集院中学校

## 1 休部について（4月末で判断）

4月初めに、本校全教職員の意向を確認し、担当する部活動顧問を決定することとなるが、意向を確認する中で、担当する教職員が決まらない場合は、その年度の部活動を休部とする。

### <休部になった場合の現部員への対応>

- 活動している部活動への転部を認める。
- ※ 希望する部活動への「転入部届」を提出することとなる。

## 2 廃部または休部について

2年連続新入部員の加入がない場合、休部または廃部する。

- ※ 廃部にするか休部にするかについては、育成会長の意見も参考にしながら、最終的には学校長が判断する。なお、翌年に部員が確保でき、公式戦に参加できる状況にあるか等（大会参加資格を満たしているか）を判断材料とする。

- (1) この規定の改定には、部活動顧問会の承認を必要とする。
- (2) 大会参加資格人数は、鹿児島県中学校体育連盟大会要項ならびに鹿児島県吹奏楽連盟規定を基準とする。
- (3) 最終的な判断及び決定は、学校長が行う。
- (4) この規定は、令和2年4月1日より施行する。

令和元年11月

部活動顧問へのアンケート（ ）部

1 現在の部活動運営について悩みはありますか。(現時点)

ア ある      イ ない

2 「ア ある」と回答した人に質問です。

どのような悩みですか。該当するすべてに印をお願いします。

ア 生徒への対応

① 練習の仕方   ② 戦術(采配)   ③ 生徒指導   ④ その他  
※ その他の内容( )

イ 保護者への対応

① 練習や戦術、采配への要望   ② 生徒指導への要望   ③ その他  
※ その他の内容( )

ウ その他

3 悩みがある場合どのように対応していますか。

該当するすべてに印をお願いします。

ア 副顧問に相談   イ 同僚に相談   ウ 管理職に相談

エ 保護者会役員等に相談   オ 他校の先生に相談   カ その他

キ 誰にも相談せず、自分で解決

ク その他( )

4 部活動運営に顧問として望むこと。

○ 部員へ：

○ 保護者へ：

○ その他：

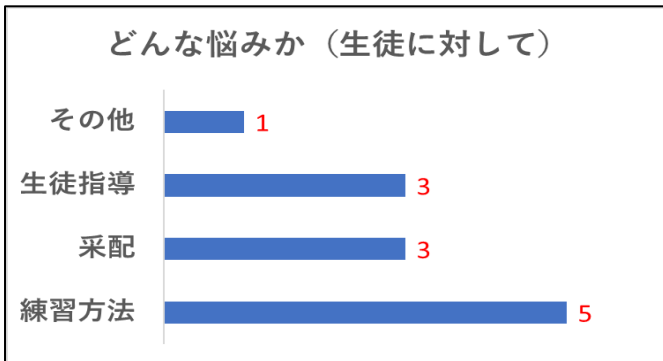
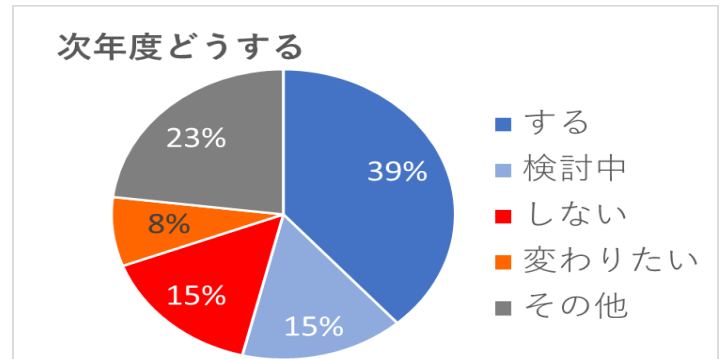
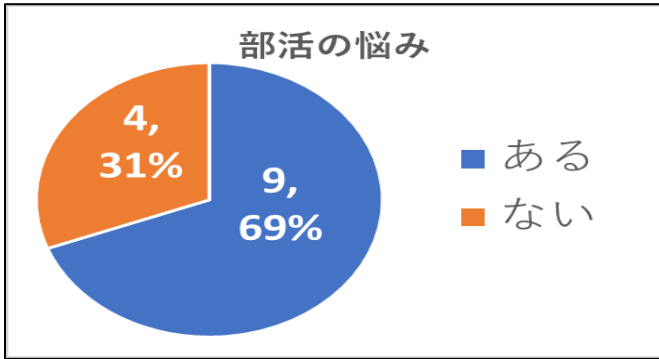
5 次年度、今の部活動の顧問をしたいと考えていますか。(現時点で)

ア 考えている。(続けたい)   イ 検討中   ウ 受け持たない。

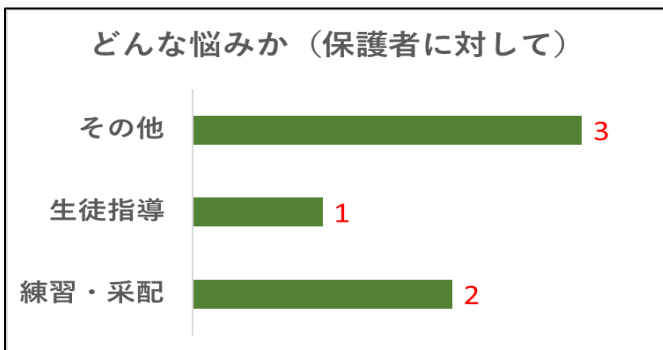
エ 部活動を変われれば持ちたい。

オ その他( )

# 部活動顧問へのアンケート調査結果

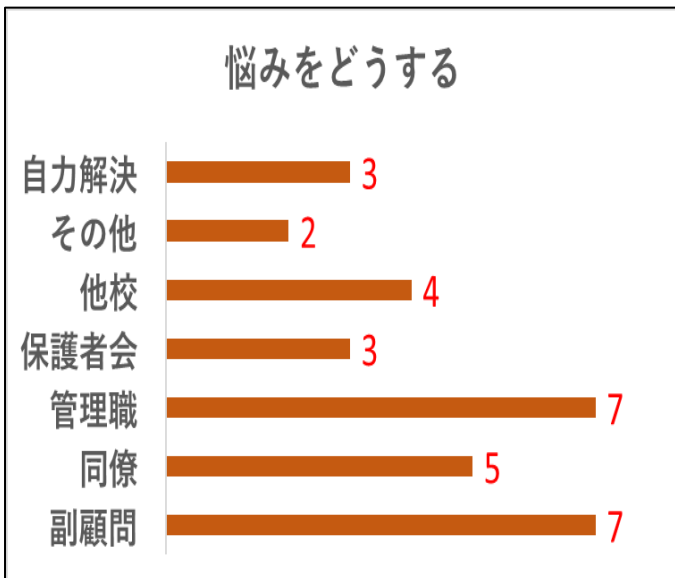


◆その他の回答 (生徒対応)  
生徒に対してしっかりと指導ができないこと (申し訳ない)



◆その他の回答 (保護者対応)

- 保護者間トラブル
- 徴収金の未納
- 他の学校との比較
- 合宿や練習増加の要求



◆その他の回答 (その他)

- 合同チームの対応
- 連盟の仕事 (事務仕事)
- 帯同審判の要請や確保 等

部活動運営に顧問として望むこと

○部員へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習面、生活面等、学校生活をしっかり送ってほしい。</li> <li>互いを思いやれる人間関係を築いてほしい。</li> <li>目標をもって取り組んでほしい。やる気のある生徒のみ入部</li> <li>趣味と部活動は異なることを理解してほしい。</li> <li>技術的指導ができず大変申し訳ない。</li> </ul>
○保護者へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の頑張りに応援を。・生徒にできることは生徒に！</li> <li>保護者間の連携を密に図ってほしい。</li> <li>練習内容や采配については顧問に任してほしい。</li> <li>何か要望がある場合は、保護者会長さんをとおしてほしい。</li> <li>選抜チームや大会については外部の方をお願いしたい。</li> </ul>

令和元年 11 月 19 日

# 第1回伊集院中学校部活動キャプテン会

## ～ この学年、この学校を輝かせるために ～

### 1 あるべき姿

- (1) してみせて、言うて聴かせて、させてみる  
そうでなければ、「人」は動かじ
- (2) A・B・C・D
- (3) あいさつ、そうじ、授業態度 等、他の生徒の手本に
- (4) 今日の全校朝会の校長先生の話  
「他山の石」の意味  
⇒「人のふり見てわがふり直せ」  
※ 他人のよくない言行を今後の自分の生き方に生かす。

### 2 他の生徒や先生方、地域の人から応援されるチームになる。

- (1) 学校に貢献するチーム、「人」となる。
- (2) 地域に貢献できるチーム、「人」となる。

ボランティア活動

### 3 思いをめぐらす人となる。

- (1) まず、顧問の先生に
- (2) そして、いつも応援し、支えてくれる親に
- (3) 共に活動している仲間に
- (4) 練習している場所に、道具に
- (5) そして、何よりも続けられる自分の体や心に  
「感謝」を言葉“ありがとう”と態度で示す。

### 4 これからの部活動について

※ 部活動としてあり続けるために・・・

思いをめぐらし、  
自ら考え、判断し  
他者と協働できる  
たくましい生徒

# 部活動の休部・廃部に関する規定

日置市立伊集院中学校

## 1 休部について（4月末で判断）

4月初めに、本校全教職員の意向を確認し、担当する部活動顧問を決定することとなるが、意向を確認する中で、担当する教職員が決まらない場合は、その年度の部活動を休部とする。

### <休部になった場合の現部員への対応>

○ 活動している部活動への転部を認める。

※ 希望する部活動への「転入部届」を提出することとなる。

## 2 廃部または休部について

2年連続新入部員の加入がない場合、休部または廃部する。

※ 廃部にするか休部にするかについては、育成会長の意見も参考にしながら、最終的には学校長が判断する。なお、翌年に部員が確保でき、公式戦に参加できる状況にあるか等（大会参加資格を満たしているか）を判断材料とする。

- (1) この規定の改定には、部活動顧問会の承認を必要とする。
- (2) 大会参加資格人数は、鹿児島県中学校体育連盟大会要項ならびに鹿児島県吹奏楽連盟規定を基準とする。
- (3) 最終的な判断及び決定は、学校長が行う。
- (4) この規定は、令和2年4月1日より施行する。